

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 NST 介入による栄養改善効果』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 栄養部 職位・氏名 管理栄養士 田中理沙

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院は2018年6月末より新病院に移転し、高度急性期病院として再始動した運営の中で栄養サポートチーム (Nutrition Support Team: NST) が早期栄養サポートを行うための仕組みづくりを行っています。その取り組みとしてNST依頼基準の設定(血清アルブミン値3.0g/dl以下, 食事摂取量5割以下), NST目標設定(食事摂取量増加, 創部改善など)と判定(達成, 未達成, 判定不能)を行っています。この取り組みを実施してからNST介入が栄養状態をどのくらい改善させたか, またNST目標設定が適切であったかどうかを明らかにするため、本研究を計画しました。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2019年6月～2020年6月までに東邦大学医療センター大橋病院

栄養サポートチームに介入を依頼された168名の患者さんから、早期に退院されたためにNST介入の効果を判定することができなかった23名を除いた145名の患者さんを対象とします。なお、栄養サポートチームが介入している方は原則として、入院中にチームによる病室訪問を実施させて頂いております。

方法: 電子カルテの情報を用いて介入前後の栄養状態の評価を行います。

目標達成群112例(77%)と未達成群33例(23%)に分けて調査しました。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 介入前後の体重, 血清アルブミン値, 血色素(ヘモグロビン), リンパ球数, 食事摂取量(投与量), 必要エネルギー充足率

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表責任者: 田中理沙

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方(代諾者が必要な場合は代諾者を含む)は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 栄養サポートチーム

職位・氏名 管理栄養士 田中理沙

電話 03-3468-1251 内線 3653